

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																																	
東京ブライダル専門学校		平成24年10月30日		内菌 幸一		〒 164-8550 (住所) 東京都中野区東中野3-17-11 (電話) 03-3360-4621																																																	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																																	
学校法人トラベルジャーナル学園		昭和55年3月10日		森谷 博		〒 164-8550 (住所) 東京都中野区東中野3-18-11 (電話) 03-3360-4621																																																	
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																																															
文化・教養		文化教養専門課程		ブライダル科		平成27年文部科学省認定		-																																															
学科の目的		ブライダルをはじめ関連するサービスに係る専門分野において必要な知識・技能の習得により有能かつ豊かな教養を備えた気力ある社会人を育成することを目的とする。																																																					
認定年月日		平成27年2月17日																																																					
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																																											
2年		昼間		1746		918		48		0		0		780																																									
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		時間																																											
240人の内数		178人		0人		9人		8人		17人																																													
学期制度		■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: A(100～)、B(79～70)、C(69～60)、D(59～) 評価の方法: 学期内2回以上の筆記・実技試験を実施																																															
長期休み		■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月24日～1月7日 ■学年末: 3月1日～3月31日				卒業・進級条件		卒業要件: ①出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上 ②修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上 ③所定の学費を指定期日までに完納していること																																															
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 一人の学生に対し、クラス担任、就職担当スタッフ、バディティーチャーの3人がサポートするトリプル支援システムを導入し、多面的なサポートを行っている。定期的な個人面談、国家資格キャリアコンサルタントを保有する教員による進路指導、また独自の留学プログラムを設定するなど、幅広い観点から学生を指導し、学習・就職を支援している。				課外活動		■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ブライダル施設見学 ■サークル活動: 有																																															
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) ブライダル業界、ジュエリー、美容・エステ、その他関連企業 ■就職指導内容 就職対策として、書類の書き方、面接マナー指導、一般常識、数学・国語を中心とした基礎学力の学びなおしを実施。就職サポート、クラス担任による個別面談を定期実施。 ■卒業生数 134 人 ■就職希望者数 122 人 ■就職者数 121 人 ■就職率 99 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 90 % ■その他 ・進学者数: 2人 ・婚姻: 1人 ・個人事業主: 2人 ・留学: 1人 ・アルバイト継続: 6人 (令和 3 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みんなの外国語検定</td> <td>③</td> <td>126人</td> <td>104人</td> </tr> <tr> <td>フラワースタイル検定</td> <td>③</td> <td>112人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>119人</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>メイクセラピー検定</td> <td>③</td> <td>84人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	みんなの外国語検定	③	126人	104人	フラワースタイル検定	③	112人	93人	色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	119人	106人	メイクセラピー検定	③	84人	50人																								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																																				
みんなの外国語検定	③	126人	104人																																																				
フラワースタイル検定	③	112人	93人																																																				
色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	119人	106人																																																				
メイクセラピー検定	③	84人	50人																																																				
中途退学の現状		■中途退学者 16名 令和3年4月1日時点において、在学者240名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者224名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の実数 進路変更、体調不良、姉妹校への転校 ■中退防止・中退者支援のための取組 クラス担任による個人面談を年4回実施。また、2週間ごとに全学生の出席率の状況を教職員へ開示し、出席率の悪い学生を担任会議で共有するとともに、担任・バディティーチャー・就職担当の三位一体のサポートを徹底し、原因や不安事項の情報を面談により速やかにキャッチしフォローに努めている。				■中退率 7%																																																	

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ※有の場合、制度内容を記入 ・AO特待生奨学金制度：AO入学選考における合格者を対象に、5分間のプレゼンテーションによる自己表現力を面接評価、入学時の学費を30万円減額する制度 ・特待生奨学金制度：入学時の筆記試験(英語15問、一般常識35問)の成績上位者に対して最大100万円の授業料を減額 ・英語資格取得奨学金制度：入学までに英検準2級、TOEIC450点以上取得された方に対して最大20万円の授業料を減免 ・長期留学制度奨学金：1年次と2年次の間に本学園のアメリカシアトル校及び台湾校への長期語学留学(1年間)を利用される方に対し、留学時の学費を約61万円減額する制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体：受審年月：評価結果を掲載したホームページURL</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>https://tokyo-bridal.ac.jp/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学の教育課程を客観的に検証し、意見や指摘を受け、それらを教育課程に反映し、即戦力となり得る実務知識や技術技能の教授を行い、業界の発展に必要な人材の育成に寄与する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長直轄の委員会であり、本学教務部にて編成された教育課程に対し、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	①
岸本 正則	日本クルーズ客船株式会社	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
関口 隆士	株式会社TOKYO TOWER	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
松島 健太郎	株式会社東京ドーム	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
神田 武彦	株式会社西武園ゆうえんち	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
川淵 晶子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
金井 友香里	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
剣持 英樹	株式会社BP	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
岩井 雄紀	株式会社ノバレーゼ	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
藏本 健	MT&ヒルトンホテル株式会社	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
村元 敬洋	日本ホテル株式会社	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
佐藤 直樹	株式会社関東東急ホテルズ	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	③
内蘭 幸一	学校法人トラベルジャーナル学園	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	—
宮崎 智恵	学校法人トラベルジャーナル学園	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	—
正谷 光隆	学校法人トラベルジャーナル学園	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	—
熊谷 有佳	学校法人トラベルジャーナル学園	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	—
國武 卓	学校法人トラベルジャーナル学園	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	—
前田 隼希	学校法人トラベルジャーナル学園	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、7月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年3月3日 1部15:00～16:30 2部17:00～17:40

第2回 令和4年7月11日 1部15:10～15:40 2部16:00～17:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ブライダル業界に以前より求められる人材像として、人間力やコミュニケーション能力、当事者意識をもって人に寄り添える人財に加え、長く続けられる人財育成として、レジリエンス(忍耐力、メンタルコントロール、仕事の向き合い方)や就職や接客につながる自己表現力を身に付ける授業を追加。AIに取られない人でしかできない仕事として、感情を大切に、考える力を養うため、チームで成し遂げる成果発表を多く取り入れ、またブライダルワークセッション授業でイレギュラー対応について考え提案する授業を実施。団体での成果発表を多く取り入れ、チームワークを養いつつも、学生一人一人の個性を伸ばす評価が求められている。個人での創作力やプレゼンテーション能力をはかる成果発表として、セールススキルをコンテスト形式で実施する成果発表も実施した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、ブライダル企業での業務に携わることで、学生の就業意欲を高めると同時に、就業時に即戦力として働ける能力を育成する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

① 専門科目授業への参画

ブライダルワークセッション、セールスプロモーション、キャリアガイダンス、ライフワークバランスコーチング、表現力の授業において、業界で活躍している方を講師として招聘

② 成果発表への参画

セールススキルコンテストへの参観、審査員

バーチャルウェディング、リアルウェディングでの提携(衣裳・ペーパーアイテムなど)

③ 企業実習への協力

結婚式場における実務経験をさせるための実習、インターンシップ

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホスピタリティ入学研修	横浜みなとみらいエリアのゲストハウスへの見学と講演をいただき、業界研究・企業研究・職種研究を実施。	アニヴェルセル株式会社、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、株式会社BP
ブライダルワークセッション	複数の業界企業から講師を招聘し、体験に基づいた現場事例を元にグループごとに対応策や解決策を討議、プレゼンテーションを行う。	株式会社デイズ・ブレイン、アニヴェルセル株式会社、株式会社ベスト・アニバーサリー、株式会社日比谷花壇、As-meエステール株式会社他
セールスプロモーション	お客様へ商品を販売し利益をあげるための仕組みを理解し、アイデアを形にして企画にする方法を学ぶ。企業から講師派遣、新規接客のロールプレイング学習を実施。	株式会社八芳園、バリューマネジメント株式会社、株式会社NOVIC、株式会社ニューバリューフロンティア
キャリアガイダンス	就職活動に向けた、自己分析を行い、書類選考、面接試験、グループディスカッションなどの準備を行う。オンライン面接対策についてなど企業から講師を招聘し、アドバイスをいただく。	アイ・ケイ・ケイ株式会社、株式会社ノバレーゼ、株式会社Pacific Diner Service、株式会社Plan・Do・See
企業実習	結婚式場におけるゲスト案内、披露宴の進行補助、飲食接客サービスを週末の土曜、日曜日に実習する。	アイ・ケイ・ケイ株式会社、アニヴェルセル株式会社、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、株式会社BP、株式会社エスクリ、株式会社八芳園など

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員の組織体制については、教員の専門性や実務経験、取得資格等についても教育上有効に機能させるため適切な配置を考え学科毎に教員の所属を区分し、教育カリキュラムの運営や学生指導にあたっている。職業実践的な教育に対し、質の向上をはかるためには、一人一人の教員の専門性向上および教育に対する意識の向上が必要であり、企業等の外部と連携を図り、積極的に研修の機会を設けることが重要と考えている。研修については「研修等に関する諸規定」を定め、教職員の能力開発、資質向上のための研修に取り組んで行く。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	魅力付研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和3年9月2日(木)、9月3日(金)	対象:	全教職員
内容	学科魅力付けのための新しい教育のあり方について検討および発表を行う		
研修名:	イノベーション研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和3年6月22日(火)、9月17日(金)、11月19日(金) 令和4年3月16日(水) ※合計4回実施	対象:	プライダル科専任講師
内容	イノベーションの基本理解および実践的なスキルを習得する。また自己の課題を明確にし、今後の事業革新・改善につなげる。		
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			
② 指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	カウンセリング講座	連携企業等:	APC朝日バーソナリティセンター付属心理教育学院
期間:	令和3年9月8日(水)、14日(火)、22日(水)、28日(火)、10月6日(水)、12日(火)、20日(水)、26日(火)、11月2日(火)、10日(水)、16日(火)、24日(水)、12月1日(水)、7日(火)、令和4年1月12日(水)、18日(火)、26日(水)、2月2日(水) ※合計18回実施	対象:	プライダル科専任講師
内容	学生対応・相談や個別面談等での対応力向上のプログラム		
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	サンフランシスコ・シアトル研修	連携企業等: TRAJAL USA INC.
期間:	令和4年7月22日(金)～7月29日(金)	対象: ブライダル科専任講師
内容	国際人教育の推進を目的として、異文化学習、英会話学習、学生の留学先視察を行った。	
研修名:	魅力付研修	連携企業等: 株式会社マックスマネジメント
期間:	令和4年8月4日(木)～8月5日(金)	対象: 全教職員
内容	学科魅力付けのための新しい教育のあり方について検討および発表を行う	
研修名:	イノベーション研修	連携企業等: 株式会社マックスマネジメント
期間:	令和4年4月22日(金)、6月22日(水)、9月16日(金)、11月25日(金) ※合計4回実施	対象: ブライダル科専任講師
内容	イノベーションの基本理解および実践的なスキルを習得する。また自己の課題を明確にし、今後の事業革新・改善につなげる。	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	カウンセリング講座	連携企業等: APC朝日バーソナリティセンター付属心理教育学院
期間:	令和4年7月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)、8月3日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)、10月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)、11月2日(水)、9日(水)、16日(水)、30日(水)、12月7日(水)、14日(水) ※合計18回実施	対象: ブライダル科専任講師
内容	学生対応・相談や個別面談等での対応力向上のプログラム	
研修名:		連携企業等:
期間:		対象:
内容		
研修名:		連携企業等:
期間:		対象:
内容		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学の教育行為を客観的に検証評価し、改善点を見出し、教育機関として特色のある学校づくりに取り組み、有為の人材を業界に送り出し、業界の発展に貢献する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念 目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

○評価基準

本学の基準に対し、差異が明確ではないとの指摘を受けたため、「優れている」「良い」「適切」「やや不足」「不足」と変更した。またそれぞれの評価に対し、具体的なコメント(特にマイナスな評価に対して)を加え、具体性を持たすべきとの意見をいただいたため、各評価項目に対しコメントを追加訂正し、本学の課題を明確にした。

○学修成果

卒業生の社会的な活躍及び評価の把握と卒業後のキャリア形成への効果把握に関し、弱いとの指摘を受けた。卒業生に関しては、同窓会を活用することも必要だが、より学科に特化した意見などの把握のために、学科別同窓会を実施し、同指摘の改善を図ることとした。

○学生支援

学生の健康管理を担う組織体制について「3」の評価を受けた。本学には学生の体調管理など保健に関する専門的知識を有する職員はいないが、全教職員に対し消防庁の救命技能士の取得を義務付け、危機管理できる対応を施している。また、精神的なケアに対しは、カウンセラー研修を全教職員対象に受講、資格取得を義務付け、その対応とした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
岸本 正則	日本クルーズ客船株式会社	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
関口 隆士	株式会社TOKYO TOWER	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
松島 健太郎	株式会社東京ドーム	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
神田 武彦	株式会社西武園ゆうえんち	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
川淵 晶子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
金井 友香里	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
剣持 英樹	株式会社BP	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
岩井 雄紀	株式会社ノバレーゼ	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
藏本 健	MT&ヒルトンホテル株式会社	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
村元 敬洋	日本ホテル株式会社	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員
佐藤 直樹	株式会社関東東急ホテルズ	令和4年2月1日～令和5年1月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ブライダル科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			ショートホームルーム	週一回、授業の前後に15分のショートホームルームを行います	1 2 通	28		○			○	○		
2	○			ホスピタリティ・SDGs研究	ホスピタリティマインド、SDGsという2つのテーマに沿ってホスピタリティの具現化について考察を深めます	1 前	30	2	○		○	○		○	
3	○			業界英語	各業界で使用する英単語・英語フレーズを学びます	1 通	60	4	△		○	○			○
4	○			キャリアガイダンス	自身のキャリアプランを考えるとともに、就職活動に対応できる能力を養います	1 通	60	4	○		△	○		○	
5	○			プレゼンテーション(BTS)	社会人として必要なプレゼンテーション能力の基礎を学びます。	1 通	60	4	△		○	○			○
6	○			ブライダル産業知識	ブライダルについて国家検定テキストを元に学び、基礎知識・検定取得を目指す	1 通	60	4	○			○		○	
7	○			ブライダル業界研究	ブライダル業界の特徴、職種について理解し、自身が目指す職種や企業を明確にする	1 前	30	2	○			○		○	
8	○			ブライダルワークショップ	現場でおこる事例を元にディスカッションを行い、対応力の幅を広げる	1 後	30	2	○			○		○	○
9	○			バリエーションウェディング	市場動向に合わせた結婚式のあり方、価値観の変化を学び提案の幅を広げる。(LGBT、SDGs、オンライン結婚式、フォト婚、宗教、ダイバーシティ)	2 後	30	2	○			○		○	
10	○			キャリアガイダンスⅡ	ブライダル業界に於いての面接・書類対策や自己分析を行う	1 後 2 前	60	4	○			○		○	
11	○			プロジェクトマネジメント	結婚式における組織運営および、スケジュール管理、時間管理を学び、チームで円滑にプロジェクトを進めるスキル習得を目指す	1 2 通	120	8	○			○		○	
12	○			イベントプランニング	ウェディングプランナーとしてコミュニケーションの取り方、接客方法を学ぶ。また結婚式の作り方やコンセプトメイキング手法のスキル習得を目指す	1 2 通	120	8	○			○		○	
13	○			イベントプランニングⅡ	現在のブライダル業界のトレンドに合わせてテーマを設定し、各グループ毎に業界提案BTS形式にて行う	2 後	30	2	○			○		○	
14	○			婚礼宴会サービス	結婚式全般の実務を学び、挙式から披露宴まで一連の施行が出来るようになる。また1年次前期は企業実習に向けた料飲サービスの基礎を学ぶ	1 2 通	120	8			○	○		○	
15	○			セールスプロモーション	業界マーケットを学び、損益計算書を含めた組織の経営の仕組みを理解。新規接客の流れを理解し、個人接客を完結出来る様になる。集大成として業界人が審査を行うコンテストを実施	1 後 2 前	60	4	○			○		○	

16	○		接客スキルトレーニング	アイスブレイク・ヒアリングの方法含め、お客様の仕草・表情などの変化を汲み取り潜在的な要望を引き出す接客力を身につける	2通	60	4				○	○	○		
17	○		ボイストレーニング	言葉を使い届ける技法を学ぶ（言語／発声・抑揚・熱量）	1前	30	2				○	○			○
18	○		所作・ウォーキングレッスン	言葉以外で届ける技法を学ぶ（非言語／表情・所作・印象付け）	1前	30	2				○	○			○
19	○		セルフビューティ	社会人として相応しい身だしなみ（ナチュラルメイク・ヘアスタイル）を学び、自身で実施できるようになる	1前	30	2				○	○			○
20	○		表現力演習	自分自身の魅力を最大限伝えられるようになるため、様々な表現方法を学び接客のプロを演じられるようになる	2後	30	2				○	○			○
21	○		婚礼衣裳	結婚式に関わる洋和装の衣装基礎知識を学び、理解を深める	1通 2前	90	3	○			○	○			○
22	○		婚礼フラワーコーディネート	結婚式に関わるフラワーの基礎知識を学び、理解を深める	1後	30	2				○	○			○
23	○		色彩基礎知識	色彩の基礎知識から、衣装や肌質などお客様へ合わせた提案ができるようになる	2前	30	2	○							○
24	○		ウェディングフォト	コンセプトの具現化をグループワークにて行う。撮影方法・スキルを学び、コンセプトに基づいて構図・空間コーディネートをを行い作品作りを実施	2前	30	2				○	○			○
25	○		おもてなし手話	手話の基本、接客時の手話を学び、手話技能検定5級合格を目指す	2前	30	2				○				○
26	○		ブライダルマーケティング	エリア・時期・ターゲットを設定しマーケット分析からブライダルフェア企画までを行う（企業タイアップ）	2前	30	2	○				○			○
27	○		デジタルマーケティング	ブライダル業界で行われる新たな集客方法をSNSを中心に学ぶ。ムービー、SNS、SEO、リスティングなど	2後	30	2	○				○			○
28	○		ライフワークバランスコーチング	就職後のキャリア構築方法を学び、仕事と私生活でのバランスのとり方、メンタルケアの方法など業界で活躍している方（卒業生）をロールモデルとしてレジリエンスを軸に学ぶ	2後	30	2	○				○			○
29		○	選）デザインコミュニケーション	就職後のキャリア構築方法を学び、仕事と私生活でのバランスのとり方、メンタルケアの方法など業界で活躍している方（卒業生）をロールモデルとしてレジリエンスを軸に学ぶ	2後	90	2	○				○			○
30		○	選）ファッショントレンド研究	アパレル・ファッション・コスメなどの流行を学び、傾向や変化などの分析を行う	2後		2	○				○			○
31		○	選）フィジカルトレーニング	ブライダル業界で働く上で必要な身体作りを学び、体力・精神力を高める。フィジカル、ヨガ、ティラピスなど	2後		2					○			○
32		○	選）日本文化研究	日本の歴史・文化・風習を改めて学び海外のお客様に対しての対応の幅を広げる	2後		2	○				○			○
33		○	選）海外ウェディング研究	新婚旅行人気エリアを中心に海外の結婚式の文化・風習を学び接客の幅を広げる	2後		2	○							○

34	○	企業実習	1年次120時間、2年次120時間 計240時間の現場実習を行う	1 後 2 後	240	8			○	○							○
35	○	入学オリエンテーション	学校生活の基本となる、心構えとマナーの徹底、学習目標設定、ホスピタリティについて考えます	1 前	12			○			○		○				
36	○	ホスピタリティ入学研修	研修旅行を通じて、業界就職への意識を高め職業理解を深めます	1 前	18			△	○				○	○			○
37	○	スポーツデー	各種運動競技を通し身体を動かすことで、チームワークを高め交流を深めます	1 前 2 前						○			○	○			
38		○	研修旅行（任意）	研修旅行を通じて、訪問先のホスピタリティについて触れ文化理解に活かします	1 前				△	○				○	○		○
39	○	後期始業ホームルーム	後期授業の概要説明、時間割配布、学校生活のルール・マナーの再確認をし、	1 後 2 後	4			○					○		○		
40	○	就職セミナー	模擬グループ面接を実施し、就職活動本番に向けた準備を行う	1 後									○	○			○
41	○	パラスポーツ体験会	障害の種類や程度に応じてルールや用具を工夫して実施するパラスポーツ体験を行う。	1 後 2 後									○		○		○
42	○	スピーチコンテスト	指定テーマで各クラス予選会を実施し、選出された各クラス代表が1年生全体へスピーチを実施	1 後									○		○		○
43	○	卒業式前ホームルーム	卒業式前日に連絡事項の伝達、配布物の授受を目的としたホームルームを実施	2 後	4			○						○		○	
合計					43	科目	1746 単位（単位時間）										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	①出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上 ②修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上 ③所定の学費を指定期日までに完納していること	1学年の学期区分	2期
履修方法：	所定の授業への出席、学内試験の受験、課題提出、所定の単位取得をもって履修	1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。